資料３－２

「めざす将来の姿」、「政策分野別の基本方向」及び「政策分野別の重点施策」の関係・柱立て

１．めざす将来の姿（第２章）

ふくしまの特性（魅力）及び時代潮流を踏まえ、３０年程度先を展望した上で、本県が将来こうありたいというイメージ。県、県民、市町村、地域で活動する様々な団体が力を合わせて、この姿の実現をめざして取り組む。

「人・地域」、「活力」、「安全・安心」、「思いやり」の４つの柱、政策分野（８程度）、細分野（２２程度）に区分し、整理して示す。

２．政策分野別の基本方向（第３章）

「めざす将来の姿」の実現に向けて取り組む政策の基本的な方向。ふくしま全体でこれを共有する。

柱立て、分野、細分野は、「めざす将来の姿」と同一の区分とする。

３．政策分野別の重点施策（第５章）

県が５年間の計画期間中に重点的に取り組む施策。

「政策分野別の基本方向」の細分野に対応させて示し、さらにこれを細項目（６２程度）に区分する。

４．記載例

同じ柱立て

区分	記載内容（例）
将来の姿（第２章）	Ⅱ－１　地域に根ざした力強い産業に支えられた社会（分野(8)のうちの１つ） （農林水産業の持つ底力の発揮）（細分野(22)のうちの１つ） 多様で経営感覚に優れた多くの担い手により、農地等の経営資源が十分に活用される中で安定的な経営が行われ、安全で高品質かつ多様な農林水産物を生産する一大食料生産基地となり、海外への輸出も**盛んになっています。**
基本方向（第３章）	Ⅱ－１　地域に根ざした力強い産業の育成 （農林水産業の持つ底力の発揮） 将来にわたって多くの担い手を確保し、水田農業の改革など長期的観点に立脚した産地経営を行い、他産業と融合した展開により付加価値を高め、安定的な経営を**実現していきます。**
重点施策（第５章）	Ⅱ－１　地域に根ざした力強い産業の育成 ⑵　農林水産業の持つ底力の発揮 ③農商工連携、六次産業化などによる農林水産業の総合力の強化 本県産の農林水産物について、観光業や食品産業等と連携してその付加価値を高めるほか、県産品の県内での消費拡大を図ります。また、品質管理を徹底するとともに、商業、情報通信業と密接に連携することによりブランド力を高め、国内外への販路の拡大を**進めます。**